

事業名称 「工業系列体験実習」

- 1 目的 先進企業を見学し、また大学校での機械実習を受講し将来の進路の考え方や工業技術の向上を目指す。
- 2 日時 平成 28 年 11 月 10 日 (木) 学校集合 8 時 00 分
学校出発 8 時 15 分 (交通手段：バス)
- 3 対象 2 年次自動車・電機系列 24 名
- 4 場所 9 時 00 分～11 時 00 分 フレクストロニクス・インターナショナル株式会社
12 時 00 分～16 時 00 分 関東職業能力開発大学校
- 5 内容 午前 電子機器の設計・製造過程見学

電子機器の設計や製造過程を見学し、電気回路及び電子回路学習に役立てる。また、今後の進路についても、情報収集として役立てる。

フレクストロニクス・インターナショナル株式会社
〒308-0113 茨城県筑西市関館 367-2 [TEL] 0296 37-4960

午後 (1) 機械実習

「普通旋盤による加工技術実習 (座学も含む)」

講師 上坂 淳一 特任教授

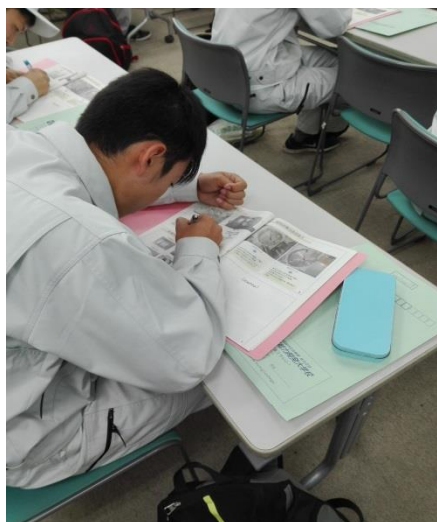
補佐 南 公崇 講師

補佐 学生 (4 年生)

(2) 施設見学

関東職業能力開発大学校
〒323-0813 栃木県小山市横倉三竹 612-1 [TEL] 0285-31-1711





6 評価

(1) 生徒のアンケート調査結果

番号	質 問 内 容	はい	いいえ	わから ない
Q 1	企業見学をして来年の就職活動の参考になりましたか。	13	6	5
Q 2	企業を見学して電気系の仕事に興味を持ちましたか。	20	0	4
Q 3	大学校での旋盤実習はうまく出来ましたか。	5	10	9
Q 4	大学校を見学して設備の規模等は良かったと感じましたか。	23	0	1
Q 5	上級学校に興味を持ちましたか。	14	7	3

(2) 生徒の感想

- ・大学校で実習をしたことで、これまで考えてなかった進学を少し考えるようになった。
- ・見たことのないものをたくさん見ることができて勉強になった。
- ・将来の就職についていろいろと考えるきっかけになった。
- ・旋盤の実習は難しかったが、良いものが作れた。
- ・仕事をする上での効率を学ぶ事ができた。
- ・電子部品にとって静電気が大敵だということを学んだ。
- ・電気関係の職場にも興味が湧いてきた。
- ・大学校の設備の規模に驚いた。
- ・工場内の製品造り用の機械も工夫次第で、自己開発できることを知りびっくりした。
- ・企業でのコストを意識することの一つに、移動の際の階段を上る秒数に制限があることに驚いた。
- ・進学に興味を持ちました。
- ・施設見学で見たことのない工作機械に興味を湧きました。
- ・旋盤を指導してくれた大学校の先生の説明が分かり易かった。
- ・実習をするところの規模が八千代高校とは比べものにならないと感じました。
- ・はじめての旋盤実習だったので大変でした。
- ・企業では1秒単位で、仕事のスピードを大切にしていることを知りました。

(3) まとめ

校外での実習及び見学は、特にものづくりを学ぶ生徒にとって今後の進路に直結していると考えられる。